

本学で学ぶために必要な能力や適性等、および入学志願者に求める入学までの取り組み

1. 感性

看護は人を対象とした学問であり実践です。そのためには、人に関心をもち、その人の置かれている状況を考え、共感しようとする力が必要です。日頃から、家族、友人、人生の先達、そして自分を大切にすることを心がけ、コミュニケーション力の向上に努めてください。

2. 思考力

看護の対象である人を理解するためには、生物学的な「ヒト」、身体・心理・社会的側面をもつ「人」、社会関係の中で生活する「人間」を理解することが必要です。また、様々な看護場面では、根拠のある判断、筋道の通った考え方とそれを伝える力や、柔軟に思考し広い視野から物事を考え、追及していくことも必要になります。そのためには、高等学校の主要教科科目の知識を習得し、十分な基礎学力を有し思考する力が求められます。

3. 主体性

看護職は、保健医療福祉分野の課題に向き合い、解決する主体性が求められます。そのためには、国内外の社会の動向に関心をもっていること、物事を理解し疑問をもって学修する姿勢が望まれます。また、自分自身の生活や体調を管理し整えていく自己管理能力を身に付けておくことも必要です。